



←めいほうかんホームページ <http://www.at-mhk.jp>

←日々の様子をぜひご覧ください→

本校 Facebook →



明蓬館高校は2009年4月、閉校となった旧安宅小学校を活用して開校した広域通信制高校です。毎日通えるスクールコースもあります。インターネットをフルに活用し、成果物やテストで学習を評価、年4日間福岡安宅（あたか）の本校にてスクーリング（面接授業）を受ける学習システムです。

インビジブル・メンターがスタジオの片隅で

校長 日野 公三

明蓬館高校にはバレエダンサーである生徒たちがいる。世界中のあちこちに雄飛し、バレエ学校やバレエカンパニーに所属している。そんな生徒のダンスの指導者から、インビジブル・メンター（目に見えない指導者）を持つことの有用性を聞かされたことがある。中学高校生年代になったバレエダンサーは、優れた指導者やライバルたちを求めて世界に出ていく。克己心溢れる生徒たちは、一日も休まず、レッスンを行う。そしてバレエの奥義や真髄に触れる。一度触れた教えや示唆や手本は自らをとらえてはなさない。その後、たとえ優れた指導者のもとを離れたとしても、インビジブル・メンターがスタジオの片隅で自分を見守っていると想像しながらレッスンを繰り返す。そうすると技術がぐんぐん伸びていくのが自分でもわかるようだ。バレエに限らず、どんな芸術やはたまた仕事においても、目に見えない指導者を心に思い浮かべることで、あり、だと私には思える。

バレエ生のプレゼンテーション



オーストラリア国立バレエ団に就職が決まっている卒業年度の有村さん。今春からはオーストラリアで一人暮らしが始まります。

本校所属生徒 内訳 (2/1 付)		
本校生徒	サポート校	合計
81名	18名	99名

明蓬館全校
442名



プレゼンテーションの後は、今春入学予定の中3生と現役バレエ生達との懇親会。バレエ講師であるお母さま方も混ざって和気あいあいの時間でした。



私（小賀）からは卒業年度の二人のバレエ生へのはなむけとして、中島みゆきの「ファイト」の弾き語りをさせていただきました。卒業おめでとうの気持ち込めて。



谷口さんはベルリン王立バレエ学校に1年留学後、現在はロシアのポリショイバレエ学校に留学しています。



校章のコンセプト

「@」をモチーフに図案化。そこから伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るく人間になってほしいという学校の願いを表現しています。

出会いの2月 別れの3月

この時期になると「1月は行く」、「2月は逃げる」、「3月は去る」という言葉を耳にします。

1月から3月は、年度末に向けて1年間のまとめを行うために月日が足早に過ぎてしまうことを例えた言葉ですが、安宅本校でも1月7日初登校日に絵馬に新年の抱負を書いて発表してからあれよあれよともう2月を迎えることとなりました。

2月は中学3年生の入試面接が続きます。

中学時代様々な理由で不登校であったり、引きこもっている中学生たちも明蓬館高校の門をたたいてくれています。有難いことにその後ろには保護者、中学校の先生方がしっかりと見守ってくださいます。面接時に彼らは「今は中学校を休んでいるけど明蓬館に入ったら高校生活を悔いなくおくりたい」と声を揃えて訴えます。彼らの瞳には希望の光が輝いて私含め教職員全員、身の引き締まる思いで入試面接を終えます。

さて3月8日(日)は学校の一大行事である卒業式です。今年度の最高齢卒業生は86歳で開校以来一番の年長者です。地元安宅の出身者でもあります。

出会いの2月、別れの3月。毎日を大切に過ごしたいです。

副校長 小賀 友子



新春恒例餅つき大会

1月の恒例餅つき大会は片桐管理人さんが育てた安宅産もち米で。ご指導までいただきました。



嘉麻市住民会議の25名の皆様方が本校の視察においでくださいました。熱心に研修され、お帰りには生徒がついたお雑煮で温まっていただきました。



今年の抱負

3年生の井上さんが育てた白菜と石井管理人さんが育てた大根で雑煮、きな粉餅、おろし餅、醤油餅にいただきました。ありがとうございました。



始業式のあとは真剣に絵馬作成中です。今年目標を発表しました。



新入・転入は  
0947(49)5111  
直通(小賀)へ

卒業式の日程: 3月8日(日) 午前10時30分  
入学式の日程: 4月11日(土) 午前10時30分